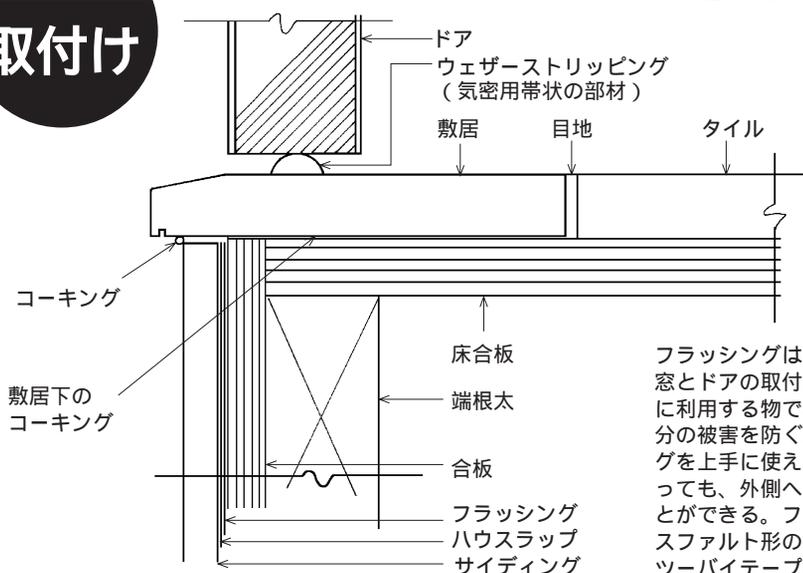


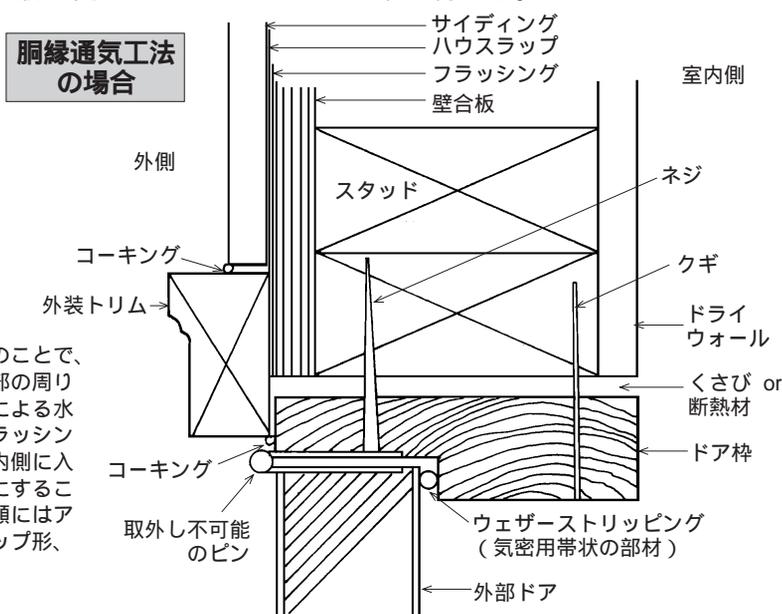
**Part 4**  
**取付け**

**プレハグドアの取付け**

壁が垂直に枠組みされ、開口部が直角で正しい寸法に施工されてから、下記の手順に従ってドアのユニットを取り付ける。



フラッシングは基本的に防水材のことで、窓とドアの取付けする際に開口部の周りに利用する物である。台風や雨による水分の被害を防ぐために、このフラッシングを上手に使い、水が外壁の内側に入っても、外側へ流れていくようにすることができる。フラッシングの種類にはアスファルト形のもの、ハウスラップ形、ツーバイテープなどがある。



- ① ドアのユニットに付いている出荷用の留め具や保護材を取り除く。
- ② ユニットを開口部に置いて、周り、すなわちドア枠とまぐさ受け枠材との間に少なくとも6mmの隙間があるかどうか、確認する。まぐさとドアの上枠との間は12mm 必要。この時点で、ドアが簡単に開閉できるかどうか試してみる。
- ③ ユニットを取り除き、下側にシリコン製コーキングを2連施し、ドア下枠と合板床下地材との間の隙間を埋めて風や雨が入り込まないようにする。
- ④ ユニットを再度開口部に置き、クサビ型詰め木(シム)を使い垂直に納める。私共は枠組み段階でドアが完璧に納まるように手間をかけて枠組みを行うのではなく、詰め木を使ってドア枠が建物のラフな枠組みにしっかりと納まるよう施工する。シムは通常クサビ型をした木片で、長さ12" (304mm)、幅2" (25mm) である。一方が 1/2" (mm) 厚で他方が厚みがなくなるまで薄くなっている。シムを差し込む場所に1本ずつ両側から差し込んで縦枠の裏側で重なるようにし、縦枠が一方へ抜れないようにする。シムを使う位置は通常各丁

- 番の位置と受座側の縦枠に3ヶ所、特に1ヶ所は受座の近くに設ける。
- ⑤ 縦枠が壁の表面に揃っているかどうか確認する。
- ⑥ ドアが垂直になるまで調整し、ドアとドア枠との隙間が均等になるようにする。通常この隙間は3mm程で、ドアやドア枠が湿気で膨張してもドアが動かなくならないように処理する。
- ⑦ 各丁番の位置と受座側3ヶ所でドアのユニットをまぐさ受けに固定する。各位置でシムを設け、釘かネジで留める。米国では、通常仕上げ釘を縦枠に打ち込み、穴を埋めてシーラーかペンキ塗装を施している。丁番のネジをひとつ長いネジと取り換えてまぐさ受けの枠材まで届かせる場合も少なくない。縦枠の両側を固定して、枠材が抜れないようにする。留め具は仕上げ釘かネジを使い、ネジの場合は木製の栓で穴を埋める。
- ⑧ 建物が沈下してもドアのユニットに影響を与えないようにするため、ドア枠の上枠部分にはシムも釘も使わない。
- ⑨ 縦枠にシムを入れて固定したあと、ドアが正しく開閉できるかどうか確認。ドアと縦枠との隙間は均等でなくてはならない。

- ⑩ 余分なシムを切り落とす。
- ⑪ 敷居の下にペーパーフラッシングを設ける。フラッシング材は、幅150mmでドアの両側150mmづつ延長させる。タイベックのような製品かアスファルトペーパーなどのハウスラップと同じものを使う。
- ⑫ 同様のフラッシング材をドアの両側にも設け、ドアのトリムの種類を問わず150mmほど越えるまで延長させる。
- ⑬ フラッシングはドア枠の上へ被せるように取り付ける。
- ⑭ ハウスラップは、敷居下のフラッシングの下側、両側はフラッシングの上へ重ねる。
- ⑮ 外壁ドアのトリムは縦枠とサイディングの隙間を埋めるように取り付ける。日本では通常防火サイディングをこのドアトリムの位置まで取り付ける。
- ⑯ ドアの上部トリムは金属製のフラッシングで覆い、ハウスラップがそのフラッシングの上へ被さるように取り付ける。サイディングの裏側へ入り込んだ水は、ドアトリムの上から外へと導かれる。
- ⑰ サイディングの取付けの後、暴風雨がドアトリムの隙間から入り込まないようにするために、サイディングとトリムとの隙間、

- ならびに、トリムとドア枠との隙間にコーキングを施す。
- ⑱ 金属製フラッシングとドアトリムの上のサイディングとの隙間にはコーキングを施さず、水が外へ流れ出るようにする。
- ⑲ 木製ドアは取付け後直ちにペンキ塗装がシーラーを施さなくてはならないが、湿度の高い季節の最中、またはその季節の直後には、絶対に行わないこと。施工中は、後でペンキで仕上げるか、あるいはステン仕上げのできるクリアシーラーを使用するのが最も適している。
- ⑳ ドア枠とまぐさ受けとの間の隙間には何らかの材料を入れて、外気が室内に入り込まないようにする。米国では、ポリウレタンの発泡材かファイバーグラスの断熱材を使用。入れる際、縦枠が押されてドアの開閉に支障を来さないよう慎重に詰めること。
- ㉑ 施工中、建物を閉めて安全を計るため、ドアの錠をこの時点で取り付けることもできる。
- ㉒ 石膏ボードが取りつけられた後、室内のドアトリムが取り付けられる。